

# ともしび通信



## コープともしびボランティア振興財団

〒658-0081 神戸市東灘区田中町5丁目3番20号(生活文化センター西館2階)  
TEL078-412-3930 FAX078-412-3871  
発行人=小倉 修悟 編集人=秦 正雄

### 認知症の方とのコミュニケーション手法～バリデーションを学ぶ

毎年、大変受講希望者の多い傾聴ボランティア講座。この講座を受講した中からグループをつくり、高齢者施設などで活動されているボランティアの方を対象に、当財団ではフォローアップ研修を開催しています。今回はボランティアのみなさんから要望の高かった認知症高齢者とのコミュニケーションのとり方をテーマに研修を行いました。

2月19日(火)、アメリカのソーシャルワーカーが開発した「バリデーション」という技法をテーマに都村尚子さん(認定バリデーションワーカー)を講師に招き、コープカルチャー西宮で開催しました。



写真はバリデーションのロールプレイを行っているところ(右側が都村先生)

講師は、介護の必要な高齢者の施設で勤務された経験と、介護職を志す学生を施設に実習生として送り出す立場の経験を持ちます。その双方での豊富な経験を踏まえて具体的事例を多く交えながら、バリデーションの理論と実践をわかりやすく話され、悩みつつ活動されている受講生から大変好評を得ました。

当財団では今後もこのテーマでの研修・講座を引き続き開催していきたいと考えています。

#### ■バリデーションとは

本来、「確認する」「強化する」という意味ですが、認知症高齢者のケアの分野では、その人が生きてきた意味や価値を確認する、というふうに使われます。人は加齢とともにさまざまなものを失っていきませんが、人間が最後まで失わないものは感情であるということに焦点をあて、認知症高齢者とのコミュニケーションを通して感情レベルに訴える手法をバリデーションと呼びます。

#### ■バリデーションの定義

「バリデーションとは、認知症高齢者の感情を受け容れることであり、道路を渡って認知症の人の側につくことである。そして、認知症高齢者の尊厳を取り戻す手助けをするひとつの方法である」(国際バリデーション協会)

#### <受講者の感想>

- 傾聴活動について少し行き詰っていましたが、今日の話は目からウロコでした。活動の力をいただきました。
- 人に寄り添うことの意味の深さが心にしみました。
- 難しい言葉もありましたが、よくわかる話でした。
- 初めて聞く内容でとても新鮮でした。もっと学びたいのでぜひ継続開催してください。

## 2008年度 ボランティアコーディネートを学び、実践に生かす人のための調査研究助成が決定

ボランティア活動の活性化を促し、時代変化に対応した活動を促進するためのキーパーソンはボランティアコーディネーターです。現場でコーディネート力を発揮する人材の育成に貢献するため、当財団では社会人を対象とした調査研究助成を行っ

ています。仕事や活動を通じ問題意識を高めた人が、専門性を身につけて現場に戻ることを応援するための助成です。

2008年度は10件の応募があり、下記の4件に助成が決定しました。(いずれも期間は1年間です)

テーマ	主な内容	在籍または入学する機関	卒業後のフィールド	助成額
地域防災施策の観点からみる地域福祉推進の今後の視点と方向性について	災害時にも通用する地域ケアシステム、情報システム、ボランティアネットワークのあり方、当事者による災害対応力の強化等、住民自治を基盤とする地域福祉の推進の方向性を明らかにする	仏教大学大学院 社会福祉学研究科	減災に取り組むNPO、地域政策コンサルタント会社またはコラボねっと	300,000円
学校と地域の協働の意義と可能性～学習者の変革と参画を進めた総合・人権学習～	大阪府初の総合学科高校で学外施設、NPOと連携してエイズ問題、高齢者、野宿者問題等に取り組んだ実績から教育現場と市民活動団体との協働による学習手法の価値を再提案する	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科	大阪府下の公立高校	300,000円
親子で学ぶメディアリテラシー～カリキュラムの開発と実践～	ウェブ時代におけるメディアの読み解き方、メディアとの関わり方を親子で学ぶワークショッププログラムを作成し、地域団体と連携して実践する	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科	主宰する編集工房ほか	300,000円
行政と社会教育の場としてのNPO～兵庫県姫路市における取り組み～	行政マンとしてNPO法人運営にもかかわった経験を生かし、NPOへの関わりを社会教育の場として捉え、行政からのアプローチについて提案する	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科	姫路市職員として	200,000円

本紙の募集記事などに寄せられた個人情報、それぞれの記事の目的のみに使用させていただきます。